

コミュニティ福祉学部 教育目的

「いのちの尊厳のために(Vitae Dignitati)」という本学部の基本理念に立ち、コミュニティを基盤とした福祉社会構築に貢献できる人材を養成する。

学修成果

<p>&lt;学部全体&gt;</p> <p>◆学部理念・目的の習得</p> <p>1. 「いのちの尊厳のために(Vitae Dignitati)」という本学部の基本理念を理解・説明することができ、実行にむけてさまざまな活動に意欲的に取り組むことができる。(「1. リベラルアーツの素養」「2. 専門性」「5. 他者を理解する姿勢」「9. 社会的実践力」と関連)</p> <p>2. 福祉社会の実現をめざした「福祉コミュニティの形成」に、市民社会の側から、生活者の視点で取り組むという本学部の基本構想・意図が説明でき、その形成に参加・協働できる。(「2. 専門性」「9. 社会的実践力」と関連)</p> <p>◆知識・技術の習得</p> <p>1. 福祉コミュニティ形成に貢献できる高度のマネジメント能力、個別ニーズに沿った援助、地域福祉計画や地域組織化および社会調査などの能力を身につける。(「2. 専門性」「4. キャリア展望を確立する力」「5. 他者を理解する姿勢」「9. 社会的実践力」と関連)</p> <p>2. 導入教育として実施されている基礎演習をとおして、スタディ・スキルを習得し、大学での主体的な学び方を身につける。(「1. リベラルアーツの素養」「3. 自己を理解し発展させる力」「6. 表現力」と関連)</p> <p>3. キャリア教育やインターンシップにおける企業系、行政系、NPO系、海外系など幅広い分野の就業体験・職場体験をつうじて机上での学びを実践的に理解する。(「2. 専門性」「4. キャリア展望を確立する力」「5. 他者を理解する姿勢」「8. 国際性」「9. 社会的実践力」と関連)</p> <p>4. 完成期に配置されている演習科目等をおして独自の研究能力を高め、学修成果を他者に発信することができる。(「2. 専門性」「5. 他者を理解する姿勢」と関連)</p> <p>5. 全学共通科目と専攻分野の科目を統合的に学修することによって、国際感覚を具えた「専門性に立つ教養人」を育成する。(「1. リベラルアーツの素養」「2. 専門性」「8. 国際性」と関連)</p>	<p>◆現場に立った実地学習の習熟</p> <p>フィールド学習(福祉学科: ソーシャルワーク実習、コミュニティ政策学科: フィールドスタディ、スポーツウエルネス学科: スポーツウエルネスワークショップ、そして各学科で履修できるインターンシップ)等を通して、現場に立った体験的な学習能力を身につける。(「2. 専門性」「4. キャリア展望を確立する力」「6. 表現力」「7. リーダーシップ」「9. 社会的実践力」と関連)</p> <p>◆実践能力と研究能力の統合</p> <p>人間と社会に関わる総合学であるコミュニティ福祉学において、フィールドに赴いて生身の人々の抱える苦難や困難を想像・感受する力を養い、それらの苦難や困難を克服・解決する上での指針となる理論を習得することができる。(「2. 専門性」「3. 自己を理解し発展させる力」「5. 他者を理解する姿勢」「9. 社会的実践力」と関連)</p> <p>&lt;コミュニティ政策学科&gt;</p> <p>1) 福祉社会の形成基盤としてのコミュニティの構築にあたって、現状における課題を実証的な社会調査に基づき分析する能力を身につける。(「2. 専門性」「9. 社会的実践力」と関連)</p> <p>2) インターンシップ、社会調査実習等の実習型学習プログラムにより意図的・計画的に現状に変化をもたらす手段や方策に関する実践能力を身につける。(「4. キャリア展望を確立する力」「6. 表現力」「9. 社会的実践力」と関連)</p> <p>3) 「コミュニティ政策学」、「コミュニティ形成学」、「コミュニティ人間学」という本学科の3つの教育研究領域を踏まえ、その上で自己の専門的課題を追求できる。(「1. リベラルアーツの素養」「2. 専門性」「3. 自己を理解し発展させる力」と関連)</p> <p>4) 国際的な視野から社会問題を分析する力を養う。(「5. 他者を理解する姿勢」「8. 国際性」と関連)</p>
---	---

※( )内は「立教大学学士課程教育の学位授与の方針」に定める学修成果項目との関連を記載。

コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 学部理念、目的の習得	2) 知識・技術の習得	3) 現場に立った実地学習の習熟	4) 実践能力と研究能力の統合	5) 現状における課題を実証的な社会調査に基づき分析する能力	6) 意図的に現状に変化をもたらす手段や方策に関する実践能力	7) コミュニティの形成学・政策学・人間学領域を踏まえ、専門的課題を追求する力、また国際的視野から社会問題を分析する力
コミュニティ政策学入門	専門必修科目	1	本学部で展開されているカリキュラムの中軸のひとつである「コミュニティ基盤の福祉」へ多角的にアプローチすることができる。	◎	○		◎			○
コミュニティ福祉学	専門必修科目	1	本学部で展開されているカリキュラムの中軸のひとつである「コミュニティを基盤とする福祉」について、多角的にアプローチすることができる。	◎	○					○
統計学入門	専門必修科目	1	官庁統計や調査報告書を読み解くための基礎知識、統計データの基本的な分析方法や結果のまとめ方、統計の意義について学び、活用することができる。	○	○	△	○	◎	○	○
基礎演習	専門必修科目	1	大学での主体的な学び方について考え、準備を行う。基本的学習技術を習得する。学部の特徴や専門性について理解した上で、自分の将来設計を考慮することができる。	◎	◎					
フィールドスタディ	専門必修科目	2	様々なフィールドにおいて具体的な「現場」「実地」「実践」などを体験的に学び、自らの問題関心の形成や学習に結びつけることができる。	◎	◎	◎	◎	○	○	◎
社会福祉調査の基礎	学部共通科目	2~4	社会福祉が対象とする社会問題・生活問題に関わる調査の意義・背景・方法を学び、基本的知識の習得ができる。		○	◎	○	◎	○	◎
社会調査法	学部共通科目	1~4	社会調査の意義・背景・方法に関わる基本的知識の習得ができる。	○	◎	△	○			
情報処理1	学部共通科目	1~4	情報処理の基本的な考え方や原理原則、及び基礎的なパソコン操作、そして実践的なIT活用のノウハウについて修得することができる。		◎					
情報処理2	学部共通科目	1~4	情報処理における「情報発信」の基本的な考え方や、効果的な表現、及び実践的なIT活用のノウハウについて修得することができる。		◎					
ウエルネス福祉演習	学部共通科目	1~4	ストレスに満ち溢れた現代社会にあって、「癒し」の体験は、ウエルネス向上を考えるうえでとても重要な要素となる。ここでは自然豊かな森の環境で実際に「癒し」を体験し、癒しを導くノウハウを学習することができる。	◎	◎	△	◎			◎
情報処理3	学部共通科目	2~4	本講義では、福祉分野での具体的業務を想定した課題にそって、MS-Windows環境でのソフトウェア・ネットワーク技術を習得することができる。		◎					
情報処理4	学部共通科目	2~4	本講義では、福祉分野での具体的業務を想定した課題にそって、MS-Windows環境でのソフトウェア・ネットワーク技術を習得することができる。		◎					
グローバル社会で活躍するための英語1 —海外の団体や外資系企業から学ぶ—	学部共通科目	2~4	海外で働くことを具体的にイメージできることを目的とする。海外で働く職種を紹介するとともに、実際に必要な英語によるコミュニケーションに触れる。(主として、国際団体など)	○	◎	◎				◎
グローバル社会で活躍するための英語2 —海外の団体や外資系企業から学ぶ—	学部共通科目	2~4	海外で働くことを具体的にイメージできることを目的とする。海外で働く職種を紹介するとともに、実際に必要な英語によるコミュニケーションに触れる。(主として、日本企業の商社、外資系企業など)	○	◎	◎				◎
ノーマライゼーション論	学部共通科目	1~4	ノーマライゼーション原理誕生と発展プロセスを取り上げ、この原理を具現化するためにはどうしたらよいのかを検討することができる。	◎						

コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 学部理念、目的の習得	2) 知識・技術の習得	3) 現場に立った実地学習の習熟	4) 実践能力と研究能力の統合	5) 現状における課題を実証的な社会調査に基づき分析する能力	6) 意図的・計画的に現状に変化をもたらす手段や方策に関する実践能力	7) コミュニティの形成・政策・学・人文学領域を踏まえ、専門的課題を追求する力、また国際的視野から社会問題を分析する力
キャリア形成論1 (福祉系)	学部共通科目	1~4	児童、障害、高齢、地域、精神、医療のソーシャルワーカーの領域に即した実践者を招き、大学の学びと社会に於ける実践、キャリア形成をどのように積み上げるかに関して実践的な論議を行う。		○	◎				△
キャリア形成論2 (コミュニティ政策系・スポーツウエルネス系)	学部共通科目	1~4	コミュニティ政策・スポーツウエルネスの諸領域に即した実践者を招き、大学の学びと社会に於ける実践、キャリア形成をどのように積み上げるかに関して実践的な論議を行う。		○	◎				△
異文化スタディ	学部共通科目	1~4	海外の研修地において社会問題に取り組む諸団体を訪問し、その支援方法を理解するとともに、英語研修、ホームステイにより、国際的な場で活躍するために必要なコミュニケーション能力を高めることができる。	○	◎	◎	○			◎
ウエルネス福祉論	学部共通科目	1~4	ウエルネスとは何かを理解し、生きがい感を持った全人的QOLの構築には何が必要かというテーマについて議論することができる。	◎	△	△	△			
現代キリスト教人間学	学部共通科目	1~4	現代社会において様々な理由によって自己を喪失して行く個とパートナーシップを欠如して行く個に対してキリスト教はどう応えているのかを考察することができる。	○		◎				
コミュニティ福祉とキリスト教	学部共通科目	1~4	ユダヤ教とキリスト教の伝統を事例にとりあげ、人間観とコミュニティ理念の形成に宗教が果たした役割を考察することができる。	◎	○	○	△		△	◎
人権論	学部共通科目	1~4	私達の身近に存在しているにもかかわらず気が付かない関係ない難しいものと考えてしまう人権について弁護士の活動を通じた具体的な事例で認識し理解し考えることができる。	◎			○			
福祉文化論	学部共通科目	1~4	福祉文化とは何かを探究する。福祉文化の負の遺産に思いを馳せながらフクワクするような福祉文化実践に触れ、感じた事を表現し合う場を創出することができる。	◎						
生涯スポーツ論	学部共通科目	1~4	従来の「スポーツ振興」の概念とは異なるスポーツプロモーションの視点から生涯スポーツ論の性格、内容、展開の現状や特徴について理解することができる。		◎	△				
社会保障総論	学部共通科目	1~4	社会保障の概念やわが国の社会保障制度の概要を理解し、医療保険及び介護保険を通じて、社会保険に関する基礎知識を身につけることができる。	○			◎			
高齢社会システム論	学部共通科目	2~4	高齢社会を歴史の変革期として理解し、老いをめぐる問題を現代人全世代の生き方が問われる問題として考え、これからの社会への展望につなげる術を模索することができる。	◎		△				
ジェンダー論	学部共通科目	2~4	ジェンダー概念を基礎にして、「みようとしなければみえないものをみる力」を各自が醸成すること、自分の可能性を広げることができる。	○	○		◎			
障害学入門	学部共通科目	2~4	障害という様々な身体的特質を持つ人たちと、彼らに関わる人たちの話を聞き、その出会いを通じて想像力と可能性を広げ養うことができる。	◎		△	○			
家族社会学	学部共通科目	2~4	家族関係や家族と社会の関係を読み解くための基礎を学ぶことをとおして、誰もがもっている家族についての「常識」を相対化することができる。	○			◎			
人間心理の深層	学部共通科目	2~4	時として真善美に反したことを考え行動してしまう人間存在とは一体何なのか、それ以前に真善美は人間から超越して存在しうるのかといった事柄について考察する力を身につけることができる。	○		△	○			○
日本の文化と思想	学部共通科目	2~4	文化政策を個々の地域で展開していく際、その地域の伝統的な文化や生活観・労働観を如何なる形で取り込んでいったらよいかを考察するための基本的な事柄について知ることができる。	◎	○					○
発育・発達・加齢論	学部共通科目	2~4	発育・発達の性差と個人差、運動との関係、現代のこどもの諸問題、加齢に伴う生体構造、機能の変化についての知識を深めることができる。	○	△	○				
コミュニティ平和論	学部共通科目	2~4	安心して生活するための生存基盤(サブシステム)が重視され、戦争だけでなく暴力のない社会が実現する可能性について、身近な具体例を通じて考えることができる。	◎	◎	△	○			○
家族心理学の基礎	学部共通科目	2~4	家族システムや家族への援助に関する具体的な基礎知識を学ぶことができる。		○	○	○	◎		
ファシリテーション論	学部共通科目	2~4	コミュニティやグループの合意形成と協働を促すファシリテーションの技術を習得し、自身で実際にファシリテーションを企画・実施できるようになる。	○	△	△			◎	△
ライフサイクルの心理学	学部共通科目	2~4	人間のライフサイクルを通じた発達プロセスについて理解し、人間理解を深めると共に対人支援の方法について考えることができる。	○	◎	△	○	△	△	◎
セクソロジー	学部共通科目	3~4	人間の性について、身体的発達、心理的発達、社会関係の発達の側面から学び、現代社会における性の問題をさまざまな角度から考察することができる。	◎	◎	○	○			
グリーフスタディ	学部共通科目	3~4	様々な局面から生じるグリーフ(悲嘆)とグリーフワーク、その支援についての理解を深めることができる。	◎	○	○				
アジアの宗教と文化	学部共通科目	3~4	東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジアさらに中東などのアジアの宗教と文化の基礎的な知識を身につけることができる。	○	○					◎
社会福祉発達史1	学部共通科目	3~4	ヨーロッパやアメリカにおける社会福祉の発達史を学ぶことによって、社会福祉とは何かということを理論的に学習し、視点や枠組みを獲得することができる。	○			◎			
社会福祉発達史2	学部共通科目	3~4	日本が抱える社会福祉の課題を、社会福祉のあゆみから実証的に指摘することができる。	○			◎			

コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)学部理念、目的の習得	2)知識・技術の習得	3)現場に立った実地学習の習熟	4)実践能力と研究能力の統合	5)現状における課題を実証的な社会調査に基づき分析する能力	6)意図的に現状に変化をもたらす手段や方策に関する実践能力	7)コミュニティの形成・政策学・人間学領域を踏まえ、専門的課題を追求する力、また国際的視野から社会問題を分析する力
リスクマネジメント論	学部共通科目	3~4	これまでにみられる数々のリスクマネジメントの現状を把握すると同時に、実際に起きたスポーツ事故を取り上げ、事故予防の観点から、事故の詳細について様々な角度からの把握に努める。また、安全対策および心肺蘇生法をはじめとした対処方法を考えと共に、安全なスポーツ環境の構築に向けた課題解決へのアプローチ方法を考察することができる。		◎	○	○			
現代コミュニティ福祉学特別講義A	学部共通科目	2~4	海外からの招聘教授などが担当し、福祉、コミュニティ政策、スポーツウエルネスいずれかの分野についてグローバルな視点から各分野の最前線のトピックについて理解できる。	○	△		○			○
現代コミュニティ福祉学特別講義B	学部共通科目	2~4	海外からの招聘教授などが担当し、福祉、コミュニティ政策、スポーツウエルネスいずれかの分野についてグローバルな視点から各分野の最前線のトピックについて理解できる。	○	△		○			○
心理学理論と心理的支援	学部共通科目	2~4	成長と発達についての心理学理論を理解し、カウンセリングの手法について理解できる。		◎	◎	◎	○	○	
社会理論と社会システム	学部共通科目	2~4	現代社会の法・経済と社会システムについての理解、生活の理解、人と社会の関係、そして社会問題の捉え方などについて理解し、考察できる。		◎			○	○	◎
少子高齢社会論	専門基礎科目	1~4	わが国における少子高齢化による人口構造の変化が全体社会に与える影響について学び、家族と地域社会における問題と社会的対応について考察することができる。	○	◎	△	○	△	○	◎
家族政策	専門基礎科目	1~4	家族で過ごす生活という一見個人的にみえる多様な日常が、いかに社会の制度と深いつながりがあるのかを理解することができる。	○	◎	△	○	△	△	◎
国際NGO論	専門基礎科目	1~4	グローバル社会における貧困問題を解決するために、草の根レベルでの活動を展開している国際NGOの理念と活動実態、また、国際NGOの役割について理解を深めることができる。	◎	○	◎	○	○	○	◎
現代コミュニティ論	専門基礎科目	1~4	コミュニティ論の基礎理論に関する系統的な知識を習得し、現代社会の諸問題をコミュニティ論の視点から分析する能力を身につけることができる。	◎	◎			○	○	○
市民参加論	専門基礎科目	1~4	学生は市民参加の新しい局面であるNPOの多様な広がりについて触れ、その社会的機能やマネジメントのあり方について基本的な理解を得ることができる。	○	◎			△	○	○
地方自治論	専門基礎科目	1~4	この授業では、日本の地方行政の基本的な仕組みを理解し、今日の自治体の現状と課題に触れながら、これからの自治体はどうあるべきかを考察することができる。	○	◎				△	△
リサーチ方法論1	専門基礎科目	1~4	社会調査(量的調査と質的調査)によってデータを収集し、分析できる形まで整理する方法に関する基本的知識を習得できる。	○	◎	△	○	◎	△	○
政策学の基礎知識	専門基礎科目	1~4	コミュニティ政策学の基礎となるべき経済学、政治学、法学、社会学等社会科学の知見を学び、それらを通じて現在社会の置かれた状況の諸相を学ぶことができる。	○	◎	△	○	△	△	◎
社会政策	専門基礎科目	1~4	ヒューマン・ニーズへの対応としての社会政策の理念、概念、歴史、方法について理解し、他者に説明できる。	◎	◎				◎	○
経営組織論	専門基礎科目	1~4	NPOや社会的企業を含む社会組織の経営のあり方に関して、基礎からわかりやすく包括的に学習することができる。	○	◎		△	△	○	○
文化政策	専門基礎科目	1~4	文化やアートを介して人と人をつなぐことによってコミュニティを活性化させる技法を身につけることができる。	◎	◎	◎	○		○	
地方財政論	専門基礎科目	1~4	財政学、地方財政論の標準的な知識を身につけると共に、財政を通じて社会を捉える視点が存在することを認識することができる。	◎	◎		○	○	○	◎
リサーチ方法論2	専門基礎科目	2~4	統計データを分析・解釈するために必要な、統計学の基礎知識を習得するとともに、実際のデータを用いて基本的な分析法を体験的に学習し身につけることができる。	○	◎	△	◎	◎	○	○
政策科学	専門基礎科目	2~4	政策形成の制度的な仕組みを理解するとともに、政策を分析するための理論的枠組み・手法についての知識を習得することができる。	○	◎	△	○	△	△	◎
福祉制度論	専門基礎科目	2~4	社会政策を実現する手段としての福祉制度の目的、構成、手段、課題について他者に説明できる。	○	◎				◎	◎
健康政策	専門基礎科目	2~4	授業を通じて、1)医療保険/介護保険制度の概要、2)医療/介護サービス提供体制、3)サービス受給者の実態などを理解することができる。	○	○	◎	◎	△	○	◎
スポーツ政策	専門基礎科目	2~4	スポーツに対する政策の社会科学的な考え方、およびその歴史的展開と現代社会におけるスポーツ政策の特徴や課題について理解する。	△	○	○	◎	△	○	◎
国際経済論	専門基礎科目	2~4	国際経済の歴史と理論を学び、金融危機、資源エネルギー問題や国際経済の制度的枠組み(国際通貨制度やWTO等)についての理解を深めることができる。	○	◎	△	○	△	△	◎
逸脱と紛争の修復	専門基礎科目	2~4	コミュニティに生ずる逸脱行為と紛争を、コミュニティの福利の実現を目的として、コミュニティで解決する制度、理念、実践について、国内外の先行経験を参考にしつつ学んでいく。	○	◎	△	○	○	○	◎
エスニシティ論	専門基礎科目	2~4	エスニシティをめぐる問題について文化やコミュニケーションの側面を中心に取り上げ、理解を深めることができる。	○	◎			△	△	◎

コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 学部理念、目的の習得	2) 知識・技術の習得	3) 現場に立った実地学習の習熟	4) 実践能力と研究能力の統合	5) 現状における課題を社会的調査に基づき分析する能力	6) 意図的に現状に変化をもたらす手段や方策に関する実践能力	7) コミュニティの形成学・政策学・人間学領域を踏まえ、専門的課題を追求する力、また国際的視野から社会問題を分析する力
余暇生活論	専門基幹科目	2~4	「余暇権」の尊重された社会を確立するために、仕事と遊びの関係を見直し、個人と社会の両面から、来るべき「余暇社会」のデザインを描くことができる。	○	◎	○	○	△	◎	◎
まちづくり論	専門基幹科目	2~4	まちづくりの方法論や具体的な事例に関する知識を習得し、地域コミュニティ形成の課題や解決策について理解することができる。	○	◎	△	○	○	○	◎
コミュニティ・ビジネス	専門基幹科目	2~4	コミュニティビジネスの議論が盛んになってきている背景や実態を学習し、このような取組の現代的、歴史的な意義を理解することができる。	○	◎	○	△	○	○	◎
質的リサーチ	専門基幹科目	2~4	質的調査法の意義・背景・認識論的枠組み・調査法・分析法についての概要を理解することができる。	○	◎	○	◎	◎	○	○
持続可能な福祉コミュニティ	専門基幹科目	2~4	福祉の充実と環境負荷軽減の両立の必要性と困難を理解し、この両立を目指す一つの方法として様々なコミュニティレベルでの実践の現状、課題、可能性について学ぶことができる。	◎	△	△	○	△	◎	○
ソーシャルサポート論	専門基幹科目	2~4	学校領域、司法領域、児童福祉領域、高齢者福祉領域におけるソーシャルサポートの理論と実践について理解することができる。	◎	◎	○	○	◎	◎	◎
リーダーシップ論	専門基幹科目	2~4	コミュニティ活動や組織活動におけるリーダーシップに関する基本的な知識と技術を学ぶことができる。	○	○	○	◎	○	○	○
社会問題の社会学	専門基幹科目	2~4	「社会問題」についての社会学的な捉え方を学び、それに基づいて社会福祉やコミュニティとの関わりを持つ、現代の社会問題の特質について理解することができる。	◎	◎	○	○	◎	◎	◎
福祉心理学入門	専門基幹科目	2~4	福祉や対人援助における基本的理念・知識を学ぶとともに、面接技法、アセスメントの基礎について習得することができる。	◎	◎	○	○	○	○	◎
地域経済論	専門基幹科目	2~4	地域経済論の基礎的な理論および、戦後日本の地域経済の具体的な展開を学び、地域経済の現状と課題をコミュニティの視点から理解することができる。	◎	◎	○	○	○	○	◎
行政学	専門基幹科目	2~4	行政の理論と実際を学ぶことができ、教養人としてふさわしい行政の知識のみならず公務員試験にも対応できる知識も身につけることができる。	◎	◎	△	◎	○	◎	○
国際福祉論	専門基幹科目	2~4	国際的な視野から、人間のウェルビーイング実現について学ぶことができる。貧困や紛争の発生要因について思考し、私たちの生活とのつながりについて学ぶことができる。	◎	◎	○	○	○	○	◎
海外留学・海外インターンシップを目指す人への英語(コミュニティ政策系)	専門基幹科目	2~4	海外留学や海外インターンシップを検討している人に対して、その準備を行う。コミュニティ政策の分野を学べる海外の大学の紹介とその準備のために必要な英語を学ぶ。	○	◎	△	△	○	○	◎
英語で学ぶコミュニティ政策	専門基幹科目	2~4	コミュニティ政策に関するトピックスを英語で学ぶ。本科目は英語を勉強する科目ではなく、英語を言語としてコミュニティ政策を学び、自分の意見を伝えることができる。	◎	○	○	◎	○	○	◎
いのちの倫理学	専門基幹科目	2~4	学生は、現代社会における「生活」、「生命」、「いのち」をめぐる諸問題について資料に基づきながら現状に対する理解を深め、自分の意見を形成することができる。	◎	◎	△	△	○	○	○
Global Society and Local Communities	専門基幹科目	2~4	英語による授業を通して(スーパーグローバル大学構想の一環)、国際社会におけるグローバル規模での紛争や社会問題の発生要因、宗教や文化の多様性について理解を深めることができる。	◎	◎	△	△	○	○	◎
障害者スポーツ実践論	専門展開科目	3~4	障害のある人が、親しんでいるスポーツの支援法について学ぶとともに、障害の有無を問わずに、スポーツを楽しむための方法についても学ぶ。また、それらにより、コミュニケーション能力の向上を図ることができる。	△	◎	○	○	○	○	◎
データ分析法	専門展開科目	3~4	統計データのより詳しい分析に必要な多変量解析について、基本的な考え方や計量モデルを学び、実際のデータを用いて多様な分析法を習得できる。	○	◎	△	◎	◎	◎	◎
インターンシップ	専門展開科目	3~4	学生は、実習(就労)体験を通じて、社会問題への理解と関心を深めるとともに、将来の職業選択に関してリアルなイメージを描くことができる。	○	○	◎	◎	○	◎	◎
コミュニティスタディ	専門展開科目	3~4	教員の専攻領域に関わる知見と経験に富む指導のもと、学友と問題意識を共有し、高度な専門的知識の取得とともに、課題を探索する。	◎	◎	○	◎	○	○	◎
社会調査実習	専門展開科目	3~4	量的調査・質的調査の意義・知識を学び、その企画・実施・分析の方法を体験的に身につけることができる。	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
コミュニティ人間形成論	専門展開科目	3~4	誕生した生命が家庭や地域社会で保護と教育を受けながら社会的存在へと成長していく営みについて、我が国の現状と課題、可能性を考察することができる。	◎	○	△	○	△	△	◎
政策過程論	専門展開科目	3~4	様々な公共的課題がどのように公共政策として取り上げられ、設計され、決定されて実施されるのかについて理論的な視座と具体事例から考察することができる。	○	◎	△	○	△	△	◎
社会開発論	専門展開科目	3~4	貧困の発生要因を理解することができる。経済成長重視の開発を見直す中で台頭してきた「社会開発」の重要性について理解を深めることができる。	◎	◎	○	○	○	○	◎
住宅政策	専門展開科目	3~4	日本の戦後の住宅政策の潮流や特徴について理解を深め、少子高齢化、地方分権化、ストック重視や市場重視社会の居住問題と住宅政策の関係を考えることができる。	○	◎	△	○	△	○	◎
教育政策	専門展開科目	3~4	近年の教育政策の動向とその背景について理解を深め、実際の教育政策提言を批判的に検討できる。	○	◎	△	○	△	○	◎
福祉社会論	専門展開科目	3~4	「福祉社会」の社会学という視点から福祉ボランティアが果たす役割などの検討を通して福祉社会の今日的課題について理解することができる。	◎	○	△	△	△	○	◎

コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 学部理念、目的の習得	2) 知識・技術の習得	3) 現場に立った実地学習の習熟	4) 実践能力と研究能力の統合	5) 現状における課題を、実証的な社会調査に基づき分析する能力	6) 意図的に現状に変化をもたらす手段や方策に関する実践能力	7) コミュニティの形成学・政策学・人間学領域を踏まえ、専門的課題を追求する力、また国際的視野から社会問題を分析する力
自治体政策論	専門展開科目	3~4	地方自治体による政策の立案・実施について、その制度的な枠組みと運営手法について理解することができる。	○	◎	△	○	○	○	◎
災害心理学	専門展開科目	3~4	災害発生時および発生後のヒトの心理・行動に関する研究を概観して知識を深めるとともに、災害への対応方法について理解することができる。	○	○	△	○	△	△	◎
多文化社会論	専門展開科目	3~4	多言語・多文化化する社会の現状について理解し、異なる他者を排除するのではなく、生活者という位置づけのもとでの包摂的な社会構築に向けた課題を探ることができる。	◎	◎	△	○	○	◎	◎
家族援助論	専門展開科目	3~4	司法領域、児童福祉領域における家族の問題について、アセスメント、相談援助の方法、法律的背景についての知識や、ケースの見立て、介入方針についての基礎を習得する。	◎	◎	○			◎	○
雇用と福祉	専門展開科目	3~4	非正規雇用やワーキングプアなど、現代日本が抱えている雇用に関する諸問題をその背景とともに理解し、同分野の現代的な動向を自ら考察する力を身につけることができる。	○	◎				◎	◎
パートナーシップ論	専門展開科目	3~4	さまざまな社会問題・地域課題に対応したパートナーシップの現状・課題と可能性について理解を深めることができる。	◎	○	○			○	◎
ボランティア論	専門展開科目	3~4	学生は、阪神淡路大震災時のボランティア活動の事例を通してボランティアの可能性と課題について理解することができる。	○	◎	○	○	△	○	◎
NPO論	専門展開科目	3~4	学生は、NPOが現代社会において果たしている機能や抱えている課題に関して、包括的に理解することができる。	○	◎	△	○	△	○	○
障害者スポーツ論	専門展開科目	3~4	わが国の障害のある人々(身体障害者・知的障害者)のスポーツを中心にその現状と動向について論じ、これからの障害者スポーツを多面的に展望することができる。	○	△	○			△	◎
公共哲学	専門展開科目	3~4	公共哲学の「入門」から「応用編」まで学び、他者との共存の作法を模索する公共哲学の原理と歴史について理解を深めることができる。	◎	◎		△			○
卒業研究指導演習	専門展開科目	4	卒業研究の執筆・制作に関して、教員から指導・援助を受け作品を完成に向けて取り組むことができる。	◎	○	○	◎	◎	○	◎
卒業研究	専門展開科目	4	これまでの学習の総括として、自らの関心に応じてテーマを設定し研究に取り組むことができる。	◎	○	○	◎	◎	○	◎
社会学1	専門関連科目	1~4	社会学の基本的な概念や思考方法学び、現代社会を把握する視点を獲得することができる。	○			◎	○		◎
社会学2	専門関連科目	1~4	社会学の基本的な概念や思考方法学び、現代社会を把握する視点を獲得することができる。	○			◎	○		◎
心理学1	専門関連科目	1~4	ひとの一生の軌跡を、生涯発達心理学の視点から考察することができる。	○			◎			◎
心理学2	専門関連科目	1~4	現代のわが国における子ども・家族の心理臨床的諸問題について考えることができる。			○	◎			◎
法学1	専門関連科目	1~4	国の最高法規である憲法について理解する。福祉士国家試験や公務員試験を中心に、日常生活にも対応できる内容を目指すことができる。	○	○		○	△		◎
法学2	専門関連科目	1~4	民法を中心に権利擁護制度について理解する。成年後見制度や消費者保護、虐待防止関係の法制度を概観し、福祉士国家試験や日常生活に対応することができる。	○	○		○	○		◎
政治学	専門関連科目	1~4	映画を題材にしながら、政治学が扱ってきたテーマを学ぶとともに、政治学の考え方や基本概念を理解し、直面している問題について政治学の視点から考えることができる。	○			○	△		
経済学	専門関連科目	1~4	日常生活における人間の行動と世の中の幸せを理解するのに役立つ経済学的な考え方を身につけることができる。	○			◎	△		
生涯学習概論1	専門関連科目	1~4	生涯学習概念を社会教育との関連で把握すること、多様な学習機会に注目することによって生涯学習概念を具体的に捉えていくことができる。		◎			△		
生涯学習概論2	専門関連科目	1~4	生涯学習概念の基礎的理解を前提として、社会的要請にもとづく生涯学習を具体的に理解していくことができる。		◎	△		△		
生涯学習支援論1	専門関連科目	1~4	生涯学習者を育む学習支援の理論を学び、学習プログラムづくりのプロセスデザインを体験することで、学習支援者に求められる実践力の基盤を形成することができる。		◎	○		△		
生涯学習支援論2	専門関連科目	1~4	生涯学習者を育む学習支援の理論を学び、学習プログラムづくりのプロセスデザインを体験することで、学習支援者に求められる実践力の基盤を形成することができる。		◎	○		△		
社会教育経営論1	専門関連科目	1~4	地域づくりを支える社会教育の姿を「経営」の視点から概観することで、社会教育に期待される担い手づくりとコーディネート機能について理解を深めることができる。		◎	○		△		
社会教育経営論2	専門関連科目	1~4	地域づくりを支える社会教育の姿を「経営」の視点から概観することで、社会教育に期待される担い手づくりとコーディネート機能について理解を深めることができる。		◎	○		△		